時事新報

衆議院議員撰擧の當日に一書

本日は衆議院議員撰擧の當日なり兼ねて議員候補者として互に當撰を爭ひたる者が勝敗分け目の當日なり昔日より前二三箇月間を回顧すれば全國各地方共に所謂候補熱に浮かされ候補者が自から戰場に臨んで火花を散らすのみならず從屬周旋の人々も堅藥互に相對して味方の糾合に忙はしく縱略縱横處々、演說會を開き懇親會を催ほすは正面の手段、一樽の酒、一匹の布、衆の歡心を買はんとするは內幕の權謀、冷眼者流より之を見れば抱腹す可き事、憫笑す可き條甚だ多かりしが如くなれども是れは我國のみに限らず勝を求むる人情は何れの國も同樣にして西洋文明諸國にては特に其甚だしきを見る可し唯彼の議院政國にては政黨の由來年古くして其組織も十分に備はり自由黨又は保守黨など稱して國中二三の大政黨が倶樂部と云ひ黨務所と云ひ地方〳〵に團體を作りて互に政治上の勢引を爲し議員撰擧の折などには候補者が銘々名乘り出で、獨り競爭場に立つに非ず團體中に相談を凝らして夫れ〳〵其候補者を指名し之を仰て撰擧場に押寄するの手順なるが故に其撰擧爭は云はゞ候補者を指名したる何黨と何黨との爭にして候補者個人の爭に非ず左れば其撰擧人に向て訴ふる所も此候補者は何黨に屬して其黨の主義行實は云々あり他の一黨の行實は云々と論じ候補者の一身上より云々する者甚だ少なく隨て私身攻擊の醜も餘り著しからず撰擧の勝敗の榮辱は候補者一身に歸せずして其黨全體の分擔する所なれば撰擧の間に勝負を決して後に君子の爭を終るとを得べし選擧も年の習慣に於て此種類の圓滑を致したる者にして之を從來議員もなき我日本人に求むるは卵を見て晨をつくれと云ふの嫌あるに非ず立憲政治の初期に於て我日本人の所作事に餘り苛酷の評を下すは好まざる所なれども我輩が今月今日議員撰擧の日柄に當りて一言此度日本人の注意を乞はんとする者は他に非ず今衆議院議員を三百名として一縣毎に就き平均三名ッヽの候補者ありとすれば議員たらんとして奔走したる者は全國中九百名に下らざる可し斯くて此候補者が其撰擧費用として今日までに費したる金は一名に就き千圓より二千圓位までの間にして假りに之を千五百圓と見れば九百人に掛算して實に百三十五萬圓と爲る可し候補者其人の散財のみにて既に斯くの如くなれば之を推擧扶助せんとして四方に奔走したる多人數の雜費は中々莫大なるべきならん歐米諸國にては生計の度合も高きが故に之れと多少を比較すれば我議員撰擧費の如き固より言ふに足らざれども抑も日本の國と爲りて人政治の事を解して議員たらんなど云ふ者は皆餘りありて飽かず散して云へば兩貴士族、生計に困窮ある者なれば幸にして當撰すれば格別、不幸失敗したる者は錢を失ふて住處を得ず殊に前途を悟りして以て快々なるの情は自から難なからざるを得ず西洋立憲政治國にても撰擧事に失敗して當選する者は多けれども多年習慣の致す所、その失敗を顧慮に見て誰れも人も意に介せざるが故に所謂負け惜みの念も輕く議事の定まりたる日を以て盡議員に協議して事氣を自に消ひると立しと云ふ立憲政の下に居て事を保たんとするには斯くある可き筈なれども事に慣ざる日本人は今日一回の失敗を以て恰も終生の遺恨と爲し互に不快の念を生ずるが如き間違はあかる可きか隨分ならざる事共なり聞く或る地方にては候補者の間に競爭の甚だしき互に其人の缺點を詮議し彼れは撰擧人に斯く〳〵の賄賂を贈りたり誰れは政府より云々の不都合ありたりなど其事實證跡を穿鑿し當選の後て當撰訴訟の材料に供せんとする者もありとか云ふ扨れも斯かる氣合を示して撰擧爭中敵に二の足を踏ましむる迄の計略に止まり一旦勝敗の決したる以上は一笑互に舊間を期して男兒らしく既往を語らざるの決心ならんには夫れにても格別なしと雖ども競爭執狀の熱氣甚だしく撰擧の後に至るまでも熱火の餘勢を收めること能はずして啻に候補者のみならず各々應援を爲したる者迄も其勝敗に因りて感情を悪くし撰擧の一事を第にし朋友親戚故の人も[illegible]の怨を結べば道路の修繕、寺社の建立、議會金額に至るまで不平不合の交際上に容易に繼續する可き相談も或は永く纏まらざるが如き不折合を生ずれば社會の不幸實に此上なかる可し元來撰擧の競爭は勝つも大に[illegible]るに足らず負けるも深く恥づるに足らず內西洋諸國の事情を見るに[illegible]の大政治家と稱せらるゝ人物にても[illegible]期て大に志氣を隳せしたるの例も少なからず[illegible]

[illegible]

雜報

[illegible]